

# 多文化共生社会に適応する 対話エージェントの研究

神田 智子 (こうだ ともこ)  
情報科学部 情報メディア学科 教授



用途・応用分野：教育、訓練、シミュレーション、アミューズメント

## ■ 研究概要

多文化共生社会に適応可能なエージェントおよびロボットの非言語行動の設計における考慮点を提言することを目的とし、このために、①人間同志のコミュニケーションにおける非言語行動の文化差をモデル化し、②モデルに従って文化に特有な非言語行動をエージェントやロボットに実装し、③人間とエージェントおよびロボットのインタラクション評価実験を行います。



日本人やアメリカ人に特有なしぐさ、視線行動、うなずき等を行う、対話エージェントやロボットを開発しています。

## ■ 研究の特徴

他文化の人間がとる非言語行動を対話エージェントに実装し、ユーザが仮想体験することで、以下のような応用分野が考えられます。

- ①外国に出張する日本人が、多文化の対話時の非言語行動を体験する
- ②英語を学びながら、その国特有のジェスチャやしぐさを体験することで学習効果が向上する
- ③シャイなユーザが相手の目を見て話す面接練習ができる

